

## 若成猫の両側性結節性脂肪肉芽腫性結膜炎の1例

舟戸愼悟<sup>1)</sup> 古林与志安<sup>1)†</sup> 弘川治喜<sup>2)</sup> 古岡秀文<sup>1)</sup> 松井高峯<sup>1)</sup>

1) 帯広畜産大学基礎獣医学研究部門 (〒080-8555 帯広市稲田町西2線11)

2) 北海道 開業 (楡の木動物病院: 〒080-0854 帯広市南町東4条38-1)

(2008年9月22日受付・2008年10月30日受理)

### 要 約

雄の若成猫(3歳9カ月齢)の両側上眼瞼結膜に同時に発生した腫瘤を病理学的に検索し、両側性結節性脂肪肉芽腫性結膜炎と診断した。右側腫瘤は直径約7mm大、左側腫瘤は直径約5mm大で、乳白色表面滑沢であった。組織学的に、これら腫瘤はいずれも結合組織層における、種々の量の脂肪空胞/空隙を細胞質に持つ多核巨細胞およびマクロファージを主体とする炎症性細胞の集簇と、細胞外遊離脂質から成っていた。しかしながら、炎症性細胞と細胞外遊離脂質の割合は同時に発生した左右の病変でかなり異なっていた。

——キーワード: 両側性, 結節性脂肪肉芽腫性結膜炎, 若成猫.

----- 日獣会誌 62, 473~475 (2009)

---

† 連絡責任者: 古林与志安 (帯広畜産大学基礎獣医学研究部門病態予防学分野家畜病理学研究室)

〒080-8555 帯広市稲田町西2線11 ☎0155-49-5362 FAX0155-49-5364 E-mail: kyoshi@obihiro.ac.jp